

1. 基本情報

事務事業名	17 青梅スタジアム管理事業				事業類型	施設運営受益者負担型			
予 算	会計 10	一般会計	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	スポーツ推進費	予算額 8,429 千円
長期計画	章 4	文化・交流活動がいざつくまち	施策分野 4	スポーツ・レクリエーション	基本施策	(2) 体育施設の整備と管理運営の充実			
実施計画	事業番号・事業名	4-6 青梅市スポーツ推進計画の策定・推進							
関連計画	青梅市スポーツ推進計画								
根拠法令等	青梅市体育施設条例								

2. 事業の目的

対象（誰を・何を）	市民	目的（どういう状態にしたいのか）	市民の体育およびレクリエーションその他社会教育の振興を図り、心身の健全な発達に資する
-----------	----	------------------	--

3. 事業の指標と単位当たりコスト

							平成30年4月1日現在人口	134,708 人
成果指標	指標の説明（考え方・算出方法）	単位	区分	年度	年度 A	30 年度 B	対前年度 B-A	市民1人当たりコスト(b/人口)
利用者数	各施設利用者合計数	人	目標				0	130.0 円
			実績			10,642	10,642	
			単位コスト	円	円	1,646 円	1,646 円	
稼働率	利用枠数/利用可能枠数	%	目標				0	127.2 円
			実績			32.7	32.7	
			単位コスト	円	円	535,688 円	535,688 円	

4. 行政コスト計算書

										(単位：千円)
勘定科目	年度決算額	年度決算額 A	30 年度決算額 B	対前年度 B-A	勘定科目	年度決算額	年度決算額 A	30 年度決算額 B	対前年度 B-A	
経常費用	人件費	職員給与費		1,005	1,005	経常収益	分担金・負担金		0	0
		賞与等引当金繰入額		89	89		使用料・手数料		356	356
		退職手当引当金繰入額		0	0		その他		20	20
		その他		0	0		合計(a)	0	0	376
	小計	0	0	1,094	1,094	臨時損失(c)		0	0	
	業務費用	物件費		8,293	8,293	臨時利益(d)		0	0	
		維持補修費		0	0	臨時損益(d-c-e)	0	0	0	
		減価償却費		8,111	8,111	純行政コスト(f)=(b+e)-a	0	0	17,141	17,141
		その他		0	0					
	小計	0	0	16,404	16,404					
移転費用	支払利息		0	0						
	その他		19	19						
	小計	0	0	19	19					
合計(b)	0	0	17,517	17,517						

科目	年度決算額	年度決算額 A	30 年度決算額 B	対前年度 B-A
国庫支出金			0	0
都支出金			0	0
その他			376	376
合計	0	0	376	376

5. 人員体制

	年度	年度 A	30 年度 B	対前年度 B-A
職員			0.12	0.12
再任用職員			0.00	0.00
嘱託職員			0.00	0.00
計	0.00	0.00	0.12	0.12

6. 行政コストの主な事項

決算額の主な内訳	経常費用	経常収益・臨時損益
・管理運営委託料（指定管理料） 8,292,700円		・使用料内訳（スポーツ推進課・市民センター等受付分） 野球場：192,000円、庭球場：164,000円 ・その他内訳 退職手当引当金減額分 20,000円
主な増減理由		主な増減理由

(単位：%)

区 分	年度	年度	30 年度
有形固定資産減価償却率			56.2
受益者負担割合(a/b)			2.1

7. 貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目		年度末 A	30年度末 B	対前年度 B-A	勘定科目	年度末 A	30年度末 B	対前年度 B-A
資産の部	有形固定資産	事業用資産	3,609,002	3,609,002	負債の部	固定負債	0	0
		土地	3,469,852	3,469,852		地方債	0	0
		建物	188,817	188,817		退職手当引当金	1,019	1,019
		減価償却累計額	-113,997	-113,997		その他	0	0
		その他	64,330	64,330		1年内償還予定地方債	0	0
		インフラ資産	0	0		流動負債	0	0
		土地	0	0		未払金	0	0
		工作物	0	0		賞与等引当金	0	0
		減価償却累計額	0	0		その他	0	0
		その他	0	0		合計	0	1,019
	物品	3,844	3,844	純資産の部	固定資産等形成分		3,609,002	3,609,002
	減価償却累計額	-3,844	-3,844		余剰分(不足分)		-1,019	-1,019
	無形固定資産	0	0		合計	0	3,607,983	3,607,983
	投資その他の資産	0	0		負債および純資産の部 合計	0	3,609,002	3,609,002
現金	0	0						
未収金	0	0						
徴収不能引当金	0	0						
その他	0	0						
合計	0	3,609,002	3,609,002					

8. 貸借対照表の主な事項

勘定科目	事業用資産(土地)	勘定科目	事業用資産(建物)
決算額の主な内訳	青梅スタジアム敷地面積 30,186.58平方メートル	決算額の主な内訳	青梅スタジアム管理棟 軽量鉄骨造 141.86平方メートル 青梅スタジアム旧管理棟 鉄筋コンクリート造 1,160.96平方メートル
主な増減理由		主な増減理由	

9. 事業の評価【一次評価】

29年度末時点の課題事項	2012年のスポーツ実施率28.8%、2016年の41.0%から更なる向上を図るため、市民がスポーツを気軽にできる場を充実させる必要がある。	対応結果	未解決	事業目的を達成するための30年度事業目標【Plan】	「青梅市スポーツ推進計画」に掲げる「週1回以上のスポーツ実施率を2023年までに70%以上とする」ことを目指し、施設の適切な維持・整備を行うとともに、施設を管理する指定管理者の民間事業者としてのノウハウを活用した効率的な施設管理と効果的な運営により、市民がスポーツを気軽にできる場を充実させ、利用者の増加を図る。	
上記目標達成に向けた主な活動実績・効果【Do】	施設を適切に維持・管理し、利用可能回数は増加したが、前年度に比べ利用者は減少した。					
事業評価【Check】			総合評価【Check】			
【効率性】事業の進め方	B(良い)	【経済性】予算の使い方	B(良い)	【有効性】施策達成に対し	C(悪い)	やや不十分
評価結果から明らかになった課題事項【Check】	利用団体が主催する大会規模の縮小といった要員が考えられるが、利用者増加に向け、施設の適切な維持・整備を図る必要がある。		今後の取組【Action】	利用者増加に向け、施設の適切な維持・整備を図っていく。		今後の方向性【Action】 現状維持

※A 非常に良い=改善の余地なし、B 良い=必要に応じて改善、C 悪い=改善または休廃止を検討

10. 行財政改革推進本部評価【二次評価】(対象事業のみ)

評価	本スタジアムは、野球場と庭球場3面を有しており、市内スポーツ団体が主催する大会会場としても利用されているため、同種の他施設と比較すると利用者数は多いものの、稼働率については低い状況となっている。 野球場については、硬式野球ができる唯一の施設であるという特性を有しているものの、稼働率の向上に対して直接の影響はない状況である。 低稼働率となった理由を検証するとともに、稼働率の向上への取組として、「施設の適切な維持・整備」を挙げているが、今後も指定管理者と協力して施設の魅力づくりに努めるほか、市民に対し利用機会の掘り起しを図るべく施設のPRに努め、稼働率を上げる工夫をする必要がある。
----	--